

石澤氏に記念品贈呈

サッカー部 創部60周年の総会



五月二十四日、秋田市のホテルメトロポリタン秋田で、秋田高校サッカー部OB会総会が三十七名出席し開かれた。事業報告、収支決算が報告され、昨年度は現役チームの希望により、通常の支援のほかユニフォームを寄贈した。また、永年コーチ、監督、OB会長と多岐にわたり活躍、貢献して戴いた石澤良一氏（昭和二十七年卒）への感謝の気持ちを込めて、記念品贈呈

を満場一致で決議した。

本年は創部六十周年に当たり懇親会への案内を二百四十通発送、八十名余から返信があった。住居不明者もあり、仲間の音信をもっと伝えてほしいとの要望もあった。懇親会では、石澤氏への記念品贈呈のあと乾杯。母校グラウンドでの現役チームとの親善試合の話に花が咲いていた。（三十二年卒・国安志郎）

剣道部員5名 66年目の集い

昭和17年卒

昭和十七年卒の剣道部員は九名。現在、柴田幸三氏、武田（旧姓村上）政二郎氏、園部俊雄氏、宮田（旧姓山内）敏正氏、根岸秀治の五名が健在である。

四月二十五日午後、全員が羽城館に集まった。まずは記念写真。次に剣道場に行き、久しぶりに揃って竹刀を手にし、秋中時代を語り合う。

宿泊地に移り、緑の美酒を酌み交わすと、自ずと話題は五年生の頃の思い出に。県大会決勝で秋田商業に完勝したが戦争で全国大会は中止となつた。この無念の思いは今も消えていない。



もし全国大会在りしせば、今ごろ校長室に優勝旗が一本増えていただろう、話は次第に熱を帯びてくる。翌朝は、全員が「今回の集いを最後にしてはならない」と堅く胸に秘めながら別れを告げた。（根岸秀治）



若き日に戻り 話題に花咲く

昭和15年卒「秋中がんこ会」

昭和十五年卒の在京者が、銀座四丁目の料亭「がんこ」に年二回集まり、互いの近況を語り合う。

以前は「秋中十五年卒東京会」としていたが、現在は「秋中がんこ会」と改め、今回は昨年十一月三日に開いた。会の進行は幹事の役目だが、

各人の話には花が咲き、秋田の話題には殊のほか皆の熱が入り、三時間は以外に早く過ぎた。閉会前に毎度、校歌と校友会歌を起立斉唱、若き日に戻る。この二年間に二名が亡くなったが「一応数名になるまで続けよう」と言っている。（吉田）

「つどい」の編集方針について (お知らせとお願い)

- 一、「つどい」の記事は写真を中心に、説明文はなるべく短くして下さい。
- 二、説明文や出席者名簿などの取り扱いは、編集委員会（広報委員）にお任せ下さい。
- 三、締切に間に合った原稿はできるだけ全部掲載するように努めますが、「つどい」の寄稿は毎回数が多く、編集の都合上次回に回すこともあり、ます。なお締切は、夏季号は六月上旬、新年号は十一月下旬となっております。

つどい